



報道発表資料

平成28年4月26日 | 廃棄物

平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省CO2型リサイクル高度化設備導入促進事業)の公募について(お知らせ)

環境省では、使用済製品等の分別収集・輸送・破碎・選別・再資源化プロセス全体のエネルギー起源二酸化炭素の排出抑制及び再生資源の回収効率の向上を図るための設備の導入を支援する「省CO2型リサイクル高度化設備導入促進事業」を実施しています。今年度、当該事業に係る補助事業者(執行団体)に採択した公益財団法人 廃棄物・3R研究財団において、公募を行うこととなりましたのでお知らせします。

1. 事業の概要

「省CO2型リサイクル高度化設備導入促進事業」は、省CO2型リサイクル高度化設備を導入することによって、使用済製品等のリサイクルプロセス全体のエネルギー起源二酸化炭素の排出抑制及び資源循環を同時に推進することを目的としています。

省CO2型のリサイクル高度化設備の導入費用について、1/2を上限に補助します。

2. 公募する補助対象事業

公募する補助対象事業は、次の4つのいずれかの事業です。

- ① 複数樹脂同時選別設備導入事業
- ② 非鉄金属高度破碎・選別設備導入事業
- ③ 食品再生利用高度化設備導入事業
- ④ 店頭設置型圧縮・破碎設備導入事業

3. 公募実施期間

平成28年4月26日(火)～5月31日(金) 17時必着

4. 公募及び説明会の詳細

公募の詳細については、公益財団法人 廃棄物・3R研究財団の下記(公募URL)をご参照ください。

<http://www.iwrf.or.jp/a16283.html> (公募URL)

また、説明会の詳細については、同財団の下記(説明会URL)をご参照ください。

なお、説明会への参加申し込みは、別途同財団のホームページから行ってください。

<http://www.iwrf.or.jp/a16284.html> (説明会URL: このURLから参加申し込みができます。)

(説明会日程)

開催月日	開催時間	会場名	開催場所	定員
5月10日 (火)	14:00～ 16:00 (13:30受付開始)	東京	公益財団法人 廃棄物・ 3R研究財団 会議室 東京都墨田区両国 3-25-5 JEI 両国ビル 8階	約 50 名
5月11日 (水)	14:00～ 16:00 (13:30受付開始)	大阪	TKP 新大阪カンファ レンスセンター 大阪府大阪市淀川区宮 原4-1-4 KDX新大阪 ビル 6F	約 50 名
5月12日 (木)	14:00～ 16:00 (13:30受付開始)	名古屋	TKP 名古屋駅前カン ファレンスセンター	約 50 名

			愛知県名古屋市中村区 名駅2-41-5 CK20 名 駅前ビル 5F	
5月18日 (水)	14:00～ 16:00 (13:30受 付開始)	仙 台	TKP 仙台カンファレ ンスセンター 宮城県仙台市青葉区花 京院1-2-3 ソララガー デンオフィス 4F	約 50 名
5月20日 (金)	14:00～ 16:00 (13:30受 付開始)	東 京	公益財団法人 廃棄物・ 3 R 研究財団 会議室 東京都墨田区両国 3-25-5 JEI 両国ビル 8階	約 50 名

5. 問い合わせ先

公益財団法人 廃棄物・3 R 研究財団 (<http://www.jwrf.or.jp/>)

事業支援部 (担当: 金井、久松、井草)

住所: 〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-5 JEI 両国ビル8階

TEL: 03-5638-7162 FAX: 03-5638-7165

<p>連絡先 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室 直 通 03-5501-3153 代 表 03-3581-3351 室 長 田中 良典 (内線6831) 室長補佐 鈴木 弘幸 (内線6822) 室長補佐 山口 裕司 (内線6855) 担 当 竹川 佳春 (内線6830) 担 当 伏田 豊仁 (内線6837)</p>
--

対象事業の要件

対象とする事業は、以下の4つのいずれかの事業であること。

① 複数樹脂同時選別設備導入事業

使用済製品のリサイクル工程における複数樹脂同時選別のための光学選別設備を導入する事業であること。

※「複数樹脂同時選別」とは、複数の樹脂及びその他異物の混合物を対象として、1つの設備を用いて、樹脂種類の特定並びに圧縮空気等を用いた2種類以上の樹脂及び残さの計3種類以上への選別を自動的に行うことをいう。

② 非鉄金属高度破砕・選別設備導入事業

使用済製品のリサイクル工程におけるアルミ、銅等の非鉄金属高度破砕・選別のための設備を導入する事業であること。

※「非鉄金属高度破砕・選別」とは、たとえば、素材の分離・選別性を向上させる高効率な破砕や、X線等を用いた含有元素等に応じた合金選別、複数センサーを組み合わせた高効率選別など、先進的な技術を用いて従来の破砕・選別よりも回収される素材の量又は質を向上させる破砕・選別をいう。

③ 食品再生利用高度化設備導入事業

食品循環資源等の飼料化又は肥料化工程における食品再生利用の効率化・高度化を推進するための食品再生利用高度化設備（※）を導入する事業であること。

※「食品再生利用高度化設備」とは、たとえば、従来よりも大幅に少ないエネルギーで得られる飼料又は肥料の質又は量を向上させる乾燥設備をいう。

④ 店頭設置型圧縮・破砕設備導入事業

食品小売業におけるペットボトル回収及び高度なりサイクルのために店頭設置型圧縮・破砕設備を導入する事業であること。

※「店頭設置型圧縮・破砕設備」とは、食品小売業等の店頭に設置され、一般市民によりペットボトルが直接投入される設備であり、色、形状等のペットボトルの特徴から、ペットボトルかどうかを識別し、圧縮又は破砕により減容化を自動的に行う設備をいう。

※「省CO2型リサイクル高度化設備」とは、①の光学選別設備、②の高度破砕・選別のための設備、③の食品再生利用高度化設備、④の店頭設置型圧縮・破砕設備をいう。

※上記に該当する設備であっても、実用化に至っていないと判断される技術については対象外とする。